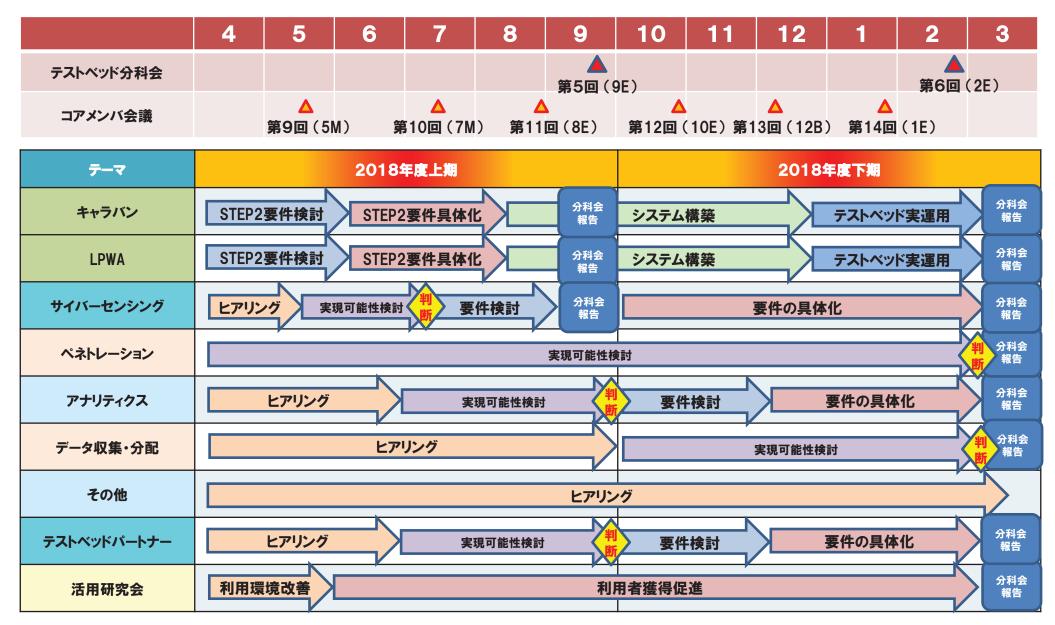
# 平成30年度の活動について

テストベッド分科会長

名古屋大学未来社会創造機構 河口 信夫

# 2018年度の活動予定(案)



# 新しい構想

- ・サイバーセンシングテストベッド
  - ・物理センシングは大変
  - どこにどの程度センサを設置すればいいのか?
    - 事前にある程度シミュレーションできると良い
    - ・ その上で動作するソフトウェアも、実環境ができる前にテスト可能
- ・テストベッドパートナー制度
  - ・利用者に[何か]を提供
    - デバイス、ソフトウェア、ソリューション、データ
    - ・ネットワーク、テストベッド
    - ・コミュニティ
- ・アナリティクステストベッド
  - 分析用のソフトウェアをパートナーから提供
- ・ビジュアライゼーションテストベッド
  - ・可視化ソフトウェアを提供

## サイバーセンシング テストベッド構想

- 仮想センサを仮想環境に設置して、データ収集が可能になるテストベッド
  - ・配置が再利用可能に
  - ・電波伝搬についても、シミュレーションで精緻化
    - ・実環境データも活用する枠組み
  - どこにどの程度センサを設置すればいいのか?
    - 事前にある程度シミュレーションできると良い
    - ・ その上で動作するソフトウェアも、実環境ができる前にテスト可能
- ・多様な実験用データを容易に取得可能
- ・ベストプラクティスが「設定ファイル」として共有可能に



## テストベッドパートナー制度

- ・NICT総合テストベッドだけで、何もかもやるのは困難
  - ・例:LPWAテストベッドの構築は、 各組織の協力なしには実現できなかった
- ・協力の仕組みを「パートナー制度」として、 Win-Winの関係になるように
- ・ご提供いただく内容
  - ・デバイス、ソフトウェア、ソリューション、データ
  - ・ネットワーク、テストベッド
  - ・コミュニティ

制度を整備予定 ぜひ、ご協力ください

#### アナリティクス テストベッド構想

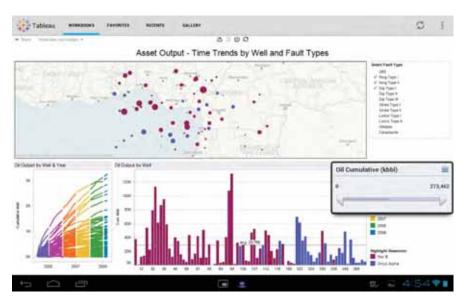
・多様なアナリティクスツールの試用を可能に

テストベッド パートナー制度

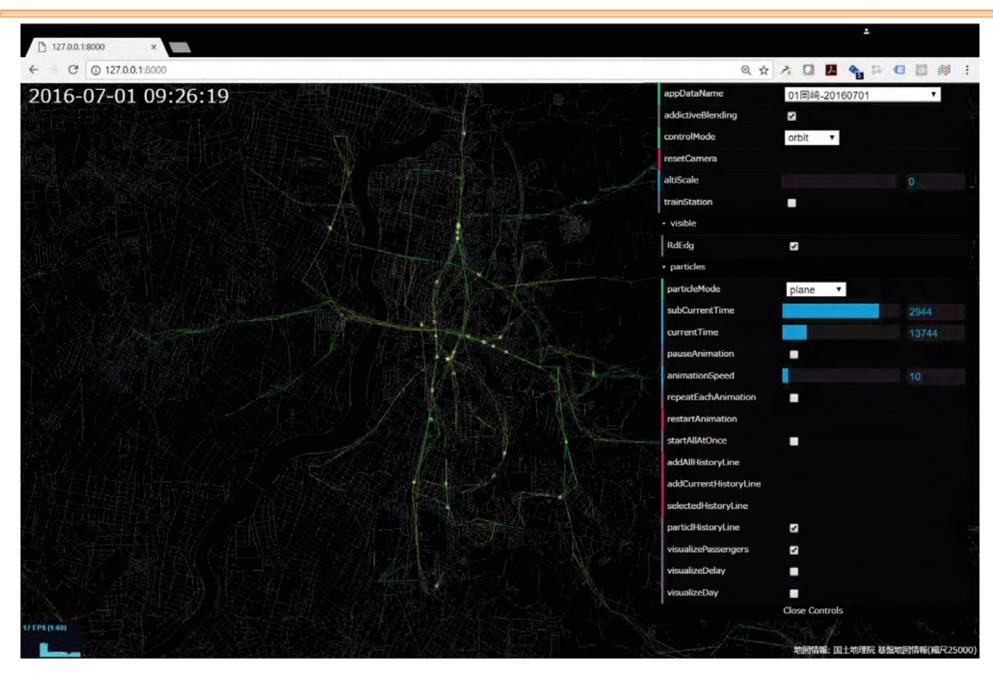
オープンデータ等も含め、利用ノウハウの共有化 (アナリティクス ショーケース)

・データ収集・分配テストベッドとも連携





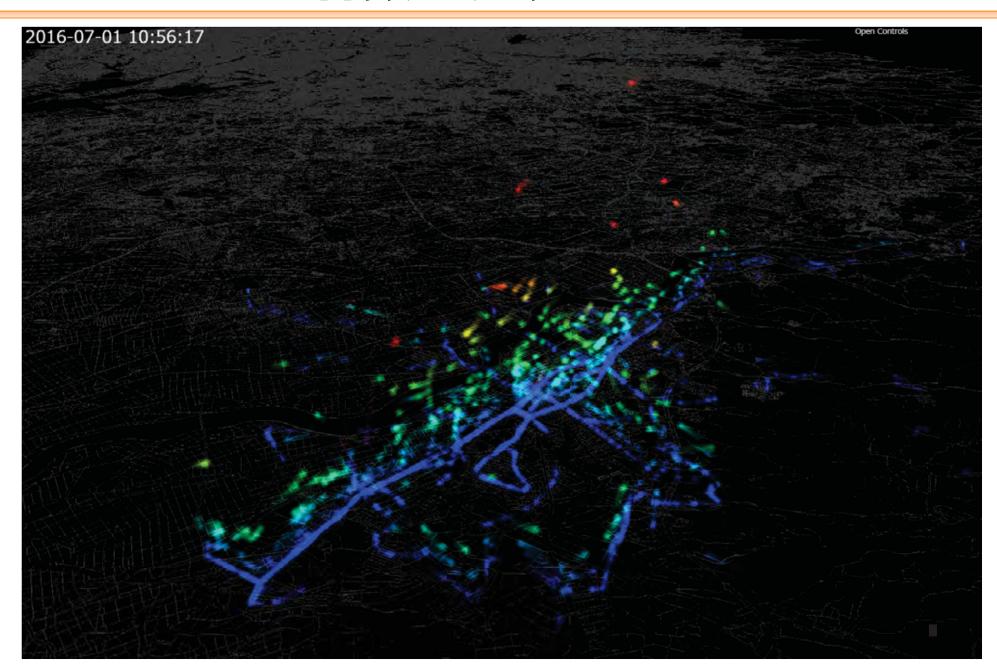
# ビジュアライゼーション テストベッド構想



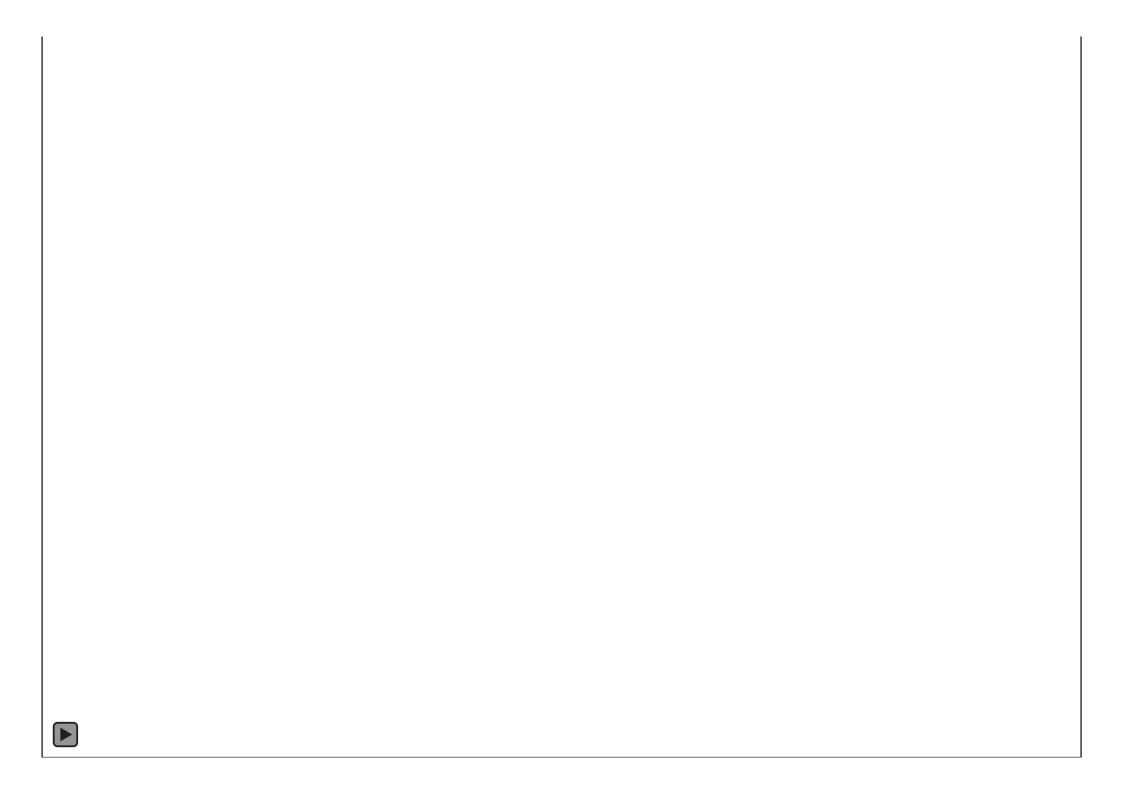
# 乗降人数の可視化(高さ方向)



# 色による乗者数の表現

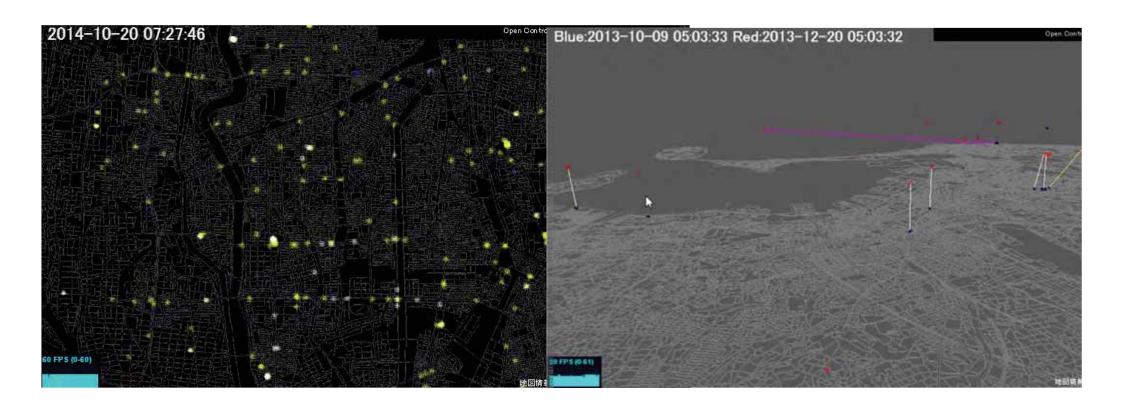






## ビジュアライゼーションテストベッド

- ・公開できるデータ提供(一部・サンプルでもOK)を 前提として、可視化ツールのソースコードを提供
- ・コミュニティとしてサポートを提供(チャットベース)
  - ・専用サポートも提供(規模によっては有償)



#### まとめ

- ・平成30年度も、新しい構想を含め loTテストベッドの構築・提案を進めていきたい
  - LPWA
  - ・キャラバン
  - ・ペネトレーション
  - ・サイバーセンシング
  - ・アナリティクス
  - ・ビジュアライゼーション
- ・皆様の忌憚ないご意見、ご協力、応援を おまちしております!

#### まとめ

- ・広大なloT分野に対して、テストベッドの必要性を 有識者によって構成されるコアメンバ会議・検討会を 中心に議論 → 仕様を提言していきたい
- 分科会・コアメンバ会議・検討会を通じて、事例紹介や 国際状況などを把握しつつ、テストベッド要件を検討
- ・いくつかのテストベッドでは、具体化が進みつつある
  - ・LPWA / IoTキャラバン
- ・テストベッド活用研究会を通じた利用ノウハウの蓄積

ぜひご意見をください